

# 対マラウイ無償資金協力

## 「リロングウェ市幹線道路改修計画(詳細設計)」 E/N 署名式

2019年10月9日



柳沢特命全権大使とムワナムヴェカ財務大臣が書簡  
(E/N)を交換し握手を交わす様子



木藤 JICA マラウイ事務所長とムワナムヴェカ財務  
大臣が贈与契約(G/A)に署名し握手を交わす様子

2019年10月9日、柳沢特命全権大使とムワナムヴェカ財務・経済計画・開発大臣との間で、無償資金協力「リロングウェ市幹線道路改修計画(詳細設計)」に関する書簡の交換(Exchange of Notes)を行いました。書簡の交換に続き、木藤 JICA マラウイ事務所長とムワナムヴェカ大臣との間で贈与契約(Grant Agreement)の署名が行われました。この式典はジューマ運輸・公共事業大臣の立ち会いのもと執り行われました。

日本政府は、JICA を通じマラウイ政府に 8000 万円を限度額とする無償資金を供与し、運輸・公共事業省は同資金を用いて、リロングウェ市内で最も渋滞している 2.75km の区間の道路の拡幅、橋梁の架け替え等に向け、入札に必要な仕様や図面、コスト等の決定を行います。

本式典において、柳沢大使はマラウイ政府に対し、この詳細設計にオーナーシップを示し自ら主体的に取り組むことが重要であり、また本體工事事業の円滑な推進のため関係機関も含めユーティリティーの移設等の計画どおりの実施の必要性を強調しました。

本年 8 月に開催された TICAD7 においては、質の高いインフラ投資の推進が合意されており、今回の支援もこのイニシアティブに沿ったものです。